

【過程評価】

- 1) 評価担当者は、日勤で対象患者を受け持った日の勤務終了後に入力を開始する。
→今回は、下記の患者の条件がそろっていれば、当日日勤かどうかは問わない。日程調整の時間で入力を行う。

- 2) 調査日にパスワードを用いて画面を起動させ、画面を見ながら以下の点に注意をして入力をする。
 - * 対象患者の条件は、①疼痛がある ②保清があるの両方を満たすものである。
 - * 記入に当たっては記録類を見たり、他の看護師に聞いたりせず、わかる範囲で記入する
 - * 過程評価は、全部で 44 個の質問（選択式と文章入力）があります。各項目に答えた後、入力看護師調査（過程評価用）に答えてください。入力看護師調査概要については資料②を参照してください。
 - * 文章入力の際に、個人名がわからないようにして入力をしてください。
 - * 設問の内容でわからないところや入力上で問題が生じた場合は、すぐに研究班メンバーに連絡をしてください。連絡先は、後日お知らせします。（資料⑥）

- 3) 入力もれがないかを確認し、入力を終了する。入力した後の修正はできるだけないようにお願いします。（あとでカルテをみて思いついたという内容を再入力しないようにしてください。）

- 4) 配布されたアンケート用紙に答えていただく。

【アウトカム評価】 → 今回の調査では行いません。

- 1) 褥瘡、転倒・転落の発生件数は、病棟で担当者を決め、毎日一覧表に記入する。
- 2) アンケート調査は、対象病棟の患者に対して実施する。師長が患者に依頼書を用いてアンケートの主旨を説明し、アンケート用紙を手渡し郵送による返送を依頼する。

Ⅲ. リコメンデーション

入力が完了しましたら、研究班にデータが送られ、評価の得点と報告書（リコメンデーション）を作成します。得られたデータから、6つの領域を3つの枠組みから分析を行い、皆様の病棟の現状を分析しどのような領域の看護がよくできているのか、弱い看護領域はどこであるのかを示し、よりよい看護を提供するには看護ケアをどのように改善したらよいかを具体的に示唆した改善提案を入れたリコメンデーションをお返しします。リコメ

ンデーションは約2週間後に皆様にお返しします。

入力していただいた師長および対象看護師の方には、簡単なアンケートを添えています。入力する上で困ることはなかったかや意味がわからないことはなかったかについてのアンケートです。アンケートの主旨をよく理解した上で、自由意志でお答えいただき、郵送にて返送いただきたいと思ひます。

また、リコメンデーションの内容に関して、ご不明な点やご質問は、研究班までお問い合わせください。一今回の調査では、自動的に点数化されるまでをお返しいたしますが、初めての自動化であるところを考慮いただけますようお願いいたします。また、入力されたデータは、入力者以外にはお返ししません。個人名や病院名、病棟名がわからないような形で統計的に処理したものを学会などで発表する可能性があります。

IV. 改善計画の準備

リコメンデーションに従って、改善計画を立てることができます。その際に、必要な専門家によるコンサルテーションを受けられるようなシステムをご紹介しますことができます。また、すでに立ち上げておられる院内の委員会の活動や病棟内のグループ活動を活用して改善活動を行うこともできます。一今回の調査では行いません。

VI. 資料

連絡先：看護ケアの質評価・改善システムの運用に関する研究班

主任研究者：片田 範子（兵庫県立大学看護学部）

分担研究者：内布敦子（兵庫県立大学看護学部）、上泉和子（青森県立保健大学）

粟屋典子（大分県立看護科学大学）、桜井礼子（大分県立看護科学大学）

坂下玲子（兵庫県立大学看護学部）、鄭佳紅（青森県立保健大学）

大塚奈央子（兵庫県立大学看護学部）

<事務局>

〒673-8588 兵庫県明石市北王子町 13-71 兵庫県立大学看護学部内

電話・FAX：078-925-9435

E-mail：atsuko_uchinuno@cnas.u-hyogo.ac.jp

担当 内布 敦子

構造評価者用 病棟概要調査内容

設問番号	設問項目
前書き	以下の質問は、評価の対象とはなりません。評価の分析に用いられ、今後の質評価の指標のためのデータとなります。
1	<p>あなたの病院についてお聞きします。 あなたの病院の設置主体を以下から選択してください。</p> <p>A：国立病院等（独立行政法人国立病院機構，国立大学法人等） B：公立病院等 C：公的病院（日赤，済生会，厚生連，国保連等） D：医療法人 E：その他の法人（学校法人，公益法人，社会福祉法人等） F：その他（入力できるようにしてください）</p>
2	あなたの病院が取得している入院基本料の区分をお書きください。
3	<p>あなたの病院の機能の別（加算取得状況）を以下から選択してください。</p> <p>A：特定機能病院 B：地域支援病院 C：急性期特定病院 D：急性期病院 E：その他の一般病院*（一般病院とは，一般病床が全病床の50%以上を占める病院） F：その他（入力できるようにしてください）</p>
4	あなたの病院の全体の稼働病床数は、何床ですか？（ ）床
5	あなたの病院の一般病床の稼働病床数は、何床ですか？（ ）床
6	あなたの病院の一般病床の年間平均病床利用率は、何%ですか？（ ）%
7	<p>あなたの病棟についてお聞きします。 あなたの病棟の診療科目をお書きください。（複数でも構いません。）</p>
8	あなたの病棟の病床数をお書きください。（ ）床
9	あなたの病棟の病床利用率をお書きください。（ ）%
10	あなたの病棟の平均在院日数をお書きください。（ ）日*小数点1まで記入してください。
11	あなたの病棟の看護師数をお書き下さい。（ ）人
12	あなたの病棟の准看護師数をお書き下さい。（ ）人
13	あなたの病棟の看護補助者数をお書き下さい。（ ）人

14	<p>あなたの病棟の勤務体制を選択してください。</p> <p>A: 2 交替勤務 B: 3 交替勤務 C: その他 ()</p>
15	<p>看護体制は次のどれですか？</p> <p>A: チームナーシング B: プライマリーナーシング C: 混合型 D: 受け持ち制 E: その他 ()</p>
14	<p>入力に要した時間の合計をお書きください。(入力時間が分散した場合は、入力に要した時間の合計を記入してください)</p>
16	<p>病院機能評価を受けていますか？</p> <p>A: はい B: いいえ</p>

過程評価者用 入力看護師調査内容

設問	設問内容
1	あなたの看護師経験年数をお答えください。
2	あなたのその病棟での看護師経験年数をお答えください。
3	入力の対象となった患者さんの性別をお答えください。
4	入力の対象となった患者さんの年齢をお答えください。
5	入力の対象となった患者さんの病名をお答えください。
6	入力に要した時間の合計をお書きください。(入力時間が分散した場合は、入力に要した時間の合計を記入してください)

＜転倒・転落・褥創発生件数チェック表＞

施設・病棟名 _____

平成	年	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	合計	
転倒(件)																																			
転落(件)																																			
褥創(個)																																			
当日の在院患者総数																																			

『転倒』・『転落』について

* 転倒とは、段差のないところで、転ぶこと。転ぶ速度は問わない。

* 転落とは、段差のあるところから、落ちること。落ちる速度は問わない。

定義: 事故の大小にかかわらず、また看護職の介助や家族の付き添いの有無にかかわらず、病棟内で起きた転倒・転落の全例をいう。

検査等でやむをえず病棟を離れる場合も含む。

カウント方法: 看護師が把握した全てのケースをカウントする。

『褥創』について

定義: 表皮剥離の状態で、褥創形成とする。

カウント方法: 入院中にできた褥創をカウントする。例えば、入院前よりある褥創はカウントしないが、同一患者が入院中に新たに褥創を生じた

場合はカウントする。また同一患者の場合、3カ所褥創があれば、「3」とカウントする。

『当日の入院患者のべ総数』について

算出方法: 前日の最終在院患者数 + 当日の入院患者数(退院患者はマイナスしない)

「入院中の看護に関するアンケート調査」による評価資料

1) 必要書類

- ①入院中の看護に関するアンケート患者用・家族用 50セット
- ②返信用封筒 50セット

2) 配付方法

患者用質問紙、家族用質問紙、返信用封筒が1セットになっています。
そのまま渡してください。

① 配布対象

現在入院中の患者さんで、アンケートに答えることが可能な患者さんとそのご家族
患者さんのご家族がいらっしゃらない場合も渡して下さい。
ご家族用質問紙が無記入で返送して頂いてかまいません。

② 配布時期

アンケート用紙が到着してからすぐ配布しはじめてください。

③ 配布期間

お手元に質問紙が渡った時点から、アンケート50部が配布し終えるまで配布して下さい。

月 日までに50部配布できなかった場合は、その時点で配布を中止してください。

患者様、ご家族様へ

看護ケアの質評価・改善システムの運用に関する研究への御協力をお願い

－入院中の看護に関するアンケート調査のお願い－

質の高い医療サービスへのニーズが高まっています。私たちは、看護の質を向上させていくために、入院中、患者さんがどのようなケアを受けておられるのか、その質を評価する方法を開発しています。この度は、患者様とご家族様に入院期間中に受けられたケアについてのご感想をお聞かせ願いたくアンケートを用意いたしました。この研究にご協力いただけます場合は、アンケートにお答えいただき、返信用封筒に入れ投函して下さい。切手は不用です。できるだけすべての項目にお答えいただければありがたいですが、項目によって答えたくない場合は、その項目は記入しないでお出しただいて結構です。

ご記入いただきましたアンケート用紙は、ご本人とご家族用を合わせて、添付の封筒に入れて、1週間以内にご返送ください。

このアンケートに協力することは自由意志です。ご回答いただきました皆様方のご意見は直接私どもが受け取りますので、病棟の方がご覧になることはございません。アンケートは無記名ですのでどなたが書かれたのかは、一切わからないようになっています。アンケートによって得られたデータはこの研究以外に用いられることはなく、研究終了後は処分いたします。この結果は、病院名など対象を特定される情報を除外して、関連学会誌等に発表される場合があります。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、ご協力のほどよろしく願いいたします。このアンケートに関して、ご質問、ご意見などがございましたら、いつでも下記の連絡先にお問い合わせください。

看護ケアの質評価・改善システムの運用に関する研究班

主任研究者：片田 範子（兵庫県立大学看護学部）

分担研究者：内布敦子（兵庫県立大学看護学部）、上泉和子（青森県立保健大学）

栗屋典子（大分県立看護科学大学）、桜井礼子（大分県立看護科学大学）

坂下玲子（兵庫県立大学看護学部）、鄭佳紅（青森県立保健大学）

大塚奈央子（兵庫県立大学看護学部）

この研究に対するご質問、お問い合わせは下記のところまでお願いいたします。

<事務局> 〒673-8588 兵庫県明石市北王子町 13-71 兵庫県立大学看護学部内

電話・FAX：078-925-9435

担当 内布 敦子

入院中の看護に関するアンケート

あなたの入院していた病院名 (_____)

あなたの入院していた病棟名 (_____)

あなたの年齢は (_____ 歳) 性別は (男性 ・ 女性)

あなたの入院期間は (約 _____ 日)

入院中にあなたが受けた看護について
下記の設問ごとに
「大いにそう思う～まったくそう思わない」のうち、
該当する番号に○をつけて下さい。

大	や	あそ	まそ
いそ	やそ	まう	っう
にう	う	り思	た思
思	思	わ	くわ
う	う	わ	くわ
		ない	ない

- | | | | | |
|---------------------------------------|---|---|---|---|
| 1. 看護師がいることで、安心して検査や治療が受けられた | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2. 安心して、看護師の世話が受けられた | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3. 自分で身体が拭けない時に、看護師に気持ちよく身体を拭いてもらっていた | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4. 痛みがあった時には、気兼ねなく看護師に言えた | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5. 看護師の対応によって、痛みは落ち着いた | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6. 痛みがあった時の看護師の対応に満足できた | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7. 看護師は、私の身体の状態をよく知ってくれていると思う | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8. 看護師から大切にされていたと思う | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 9. 納得して、治療・看護が受けられた | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 10. 伝えて欲しいことを1人の看護師に言えば、他の看護師にも伝わった。 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 11. 看護師に言えば、必要なことは医師に伝わっていた。 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 12. ご家族への看護師の対応に満足できた | 4 | 3 | 2 | 1 |

* ご回答に際し、内容や表現でわかりにくい点などございましたら、下の欄にお書き下さい。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

入院中の看護に関するアンケート（ご家族の方へ）

あなたの年齢は（ 歳） 性別は（ 男性・女性 ）
 患者さんとの続柄は（ ）

入院中のご家族(患者さん)に対する看護やあなた自身に対する看護師の関わりについて、 下記の設問ごとに「大いに思う～まったくそう思わない」のうち、該当する番号に○をつけて下さい。

	大 い に お も う	や や そ う お も う	あ そ ま う り お も わ な い	ま そ っ た お も わ な い
1. 面会の際、気兼ねなく入院中のご家族(患者さん)と一緒にいられた	4	3	2	1
2. 看護師が入院中のご家族(患者さん)に行っている世話に満足であった	4	3	2	1
3. 入院中のご家族(患者さん)の役に立ちたいと思っ たことを看護師は認めてくれていた	4	3	2	1
4. あなた自身、患者さんの家族として看護師から大切にされていたと思う	4	3	2	1

*ご回答に際し、内容や表現でわかりにくい点などございましたら、下の欄にお書き下さい。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

設 備 事 前 評 価 用 メ モ

以下の2つの質問は、構造評価の質問の1部です。PCに入力する前に実際に病棟で確かめてから入力をしてください。

指標 3.1.2.

家族／重要他者や面会者が話せる専用の場所は、声が漏れないようなところですか？実際にドアをしめて声を出して確認をしてください。

- a. 普通の声はもれない
- b. 普通の声はもれる
- c. そのような場所はない

指標 3.1.3.

家族／重要他者や面会者が話せる専用の場所は、静かなところですか？実際に部屋の中に入り確認をしてください。

- a. 外の話し声が気にならない
- b. 外の話し声が気になる
- c. そのような場所はない

入力日のご案内

()様の 構造・過程 評価入力は、

平成 17 年 3 月△日 (◇) 13:00~15:00

となりました。

あなたのログインアカウント名とパスワードは、

△■◇○×◎

です。

入力日当日に、病棟のパソコンを用いてログインを行い、入力操作を開始してください。
なるべく 1 度に入力をして終了してください。

どのような画面かをこのパスワードを使って見ることはできますが、入力をして、当日
修正するということはしないでください。

入力中にご不明な点がございましたら、内線 () までご連絡ください。すぐに
研究メンバーが病棟へ参ります。

当日、急にご都合が悪くなられましたら、下記の連絡先へお知らせください。

Tel : : 〇〇 または Tel : △△まで

資料 4

研究協力依頼に用いた依頼書および同意書

看護師様

看護ケアの質評価・改善システムの運用に関する研究へのご協力をお願い

質の高い医療サービスのニーズが高まっています。本研究班は、看護の質を向上させていくために、看護ケアの質を適正に評価する評価ツールを開発してきました。この評価ツールは、病棟における看護ケアの質を評価し、その評価内容は病棟の質を正確に評価することがすでに明らかとなっています。現在この評価ツールの精練と普及を目指し、Webを使って運用するシステムを構築しています。本評価ツールを実際に使っていただき、感想やご意見を聞かせていただけますよう御協力お願い申し上げます。

評価は、①構造評価、②過程評価、③アウトカム評価、の3つの側面から構成されており、これらを受け後日ケアの質についての結果と改善点についての報告書をお返しするシステムとなっています。今回は、①構造評価および②過程評価について皆様にWeb上での質問に答えていただきます。①構造評価についての所要時間は2時間以内、②過程評価についての所要時間は3時間以内と考えております。さらに入力終了後、使いやすさについての簡単なアンケートに答えていただきますようお願いいたします。

もし、入力中に疲労を感じられましたら、すぐに休息をおとり下さい。実際のWeb入力は、病院事前配布資料にある患者の条件にあてはまる患者さんを担当されている方をお願いすることになります。患者の条件に当てはまる患者さんを思い浮かべて入力を行っていただくこととなります。

なお、研究協力は自由意志によるものであり、研究に参加しないことによる不利益やリスクを伴うことはありません。また、研究協力を拒否されることは自由であり、研究途中や研究終了後に同意を撤回されることも可能です。Webへのアクセスはこちらが用意します認証番号を使って行っていただき、個人が特定できないように配慮し、研究者以外がデータに触れることのないようにプライバシーの保護に努めます。この研究で得られたデータは、研究終了後処分いたします。

また、入力していただいたデータは、入力していただいた方に直接お返りする以外は、各個別データの公表はしません。病院名など対象を特定される情報を除外して、統計的に処理した形で、関連学会誌等に発表される場合があります。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

看護ケアの質評価・改善システムの運用に関する研究班

研究代表者：片田範子（兵庫県立大学看護学部）

分担研究者：内布敦子（兵庫県立大学看護学部）、上泉和子（青森県立保健大学）

粟屋典子（大分県立看護科学大学）、桜井礼子（大分県立看護科学大学）

坂下玲子（兵庫県立大学看護学部）、鄭佳紅（青森県立保健大学）

大塚奈央子（兵庫県立大学看護学部）

(研究協力者用)

同意書(1)

「看護ケアの質評価・改善システムの運用に関する研究」の主旨および内容について、研究者より十分に説明を受け、その内容を理解した上で協力することに同意します。

平成 年 月 日

研究協力者署名

説明者署名

看護ケアの質評価・改善システムの運用に関する研究班

主任研究者：片田 範子（兵庫県立大学・教授）

分担研究者：内布敦子（兵庫県立大学）、上泉和子（青森県立保健大学）

栗屋典子（大分県立看護科学大学）、

桜井礼子（大分県立看護科学大学）

坂下玲子（兵庫県立大学）

鄭佳紅（青森県立保健大学）、

大塚奈央子（兵庫県立大学）

この研究に対するご質問、お問い合わせは下記のところまでお願いいたします。

<事務局> 〒673-8588 兵庫県明石市北王子町 13-71 兵庫県立大学明石キャンパス内

電話・FAX：078-925-9435

担当 内布 敦子

*尚、この同意書は依頼書とともに研究終了時まで保存していただけますようお願いいたします。

(研究者用)

同意書 (2)

看護ケアの質評価・改善システムの運用に関する研究」の主旨および内容について、研究者より十分に説明を受け、その内容を理解した上で協力することに同意します。

平成 年 月 日

研究協力者署名

説明者署名

看護ケアの質評価・改善システムの運用に関する研究班

主任研究者：片田 範子（兵庫県立大学・教授）

分担研究者：内布敦子（兵庫県立大学）、上泉和子（青森県立保健大学）

粟屋典子（大分県立看護科学大学）、

桜井礼子（大分県立看護科学大学）

坂下玲子（兵庫県立大学）

鄭佳紅（青森県立保健大学）、

大塚奈央子（兵庫県立大学）

この研究に対するご質問、お問い合わせは下記のところまでお願いいたします。

<事務局> 〒673-8588 兵庫県明石市北王子町 13-71 兵庫県立大学明石キャンパス内

電話・FAX：078-925-9435

担当 内布 敦子

資料 5

入力操作説明書

看護ケアの質評価システム 平成16年度試行版 一般入力者用操作説明書



東芝ソリューション株式会社
TOSHIBA SOLUTIONS CORPORATION
SI技術開発センター

はじめに

本書は、看護ケア質評価システムの操作について説明したものです。

本システムは、「看護QIプログラム」研究会での情報システム仕様検討のための試行版システムです。

注意事項

本システムは、インターネットを利用してデータの送信を行うため、個人情報などの重要な情報は、入力しないでください。



© Toshiba Solutions Corporation 2005

操作項目一覧

1. 初期操作
2. 入力画面操作
3. 入力内容確認操作



© Toshiba Solutions Corporation 2005

TOSHIBA

1. 初期操作

看護ケアの質評価システムの初期画面の操作方法について説明します。



© Toshiba Solutions Corporation 2005

看護ケアの質評価システム - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(I) ツール(T) ヘルプ(H) リンク >> ?

(1) ブラウザを起動し、指定のURLを入力します。

(2) ログイン画面で該当する
ログインアカウント、ログインパスワードを
入力します。

[構造評価](#)

[過程評価](#)

(3) 構造評価又は過程評価を選択します

看護QIプログラム 研究班

看護QIプログラム 研究班本部 兵庫県立大学

ページが表示されました

インターネット

© Toshiba Solutions Corporation 2005

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(I) ツール(T) ヘルプ(H) リンク >> ?

看護ケアの質評価システム [TOP](#)

メニュー

入力・編集、削除
閲覧

右と同じ操作

入力・編集、削除
看護ケアの質評価に関する答えを入力・編集します。また、入力済みのデータを削除します。

2. 入力画面操作へ

閲覧
看護ケアの質評価に関する

3. 入力内容確認操作へ

Copyright Toshiba Solutions Corporation 1997-2005

© Toshiba Solutions Corporation 2005